

よもよも vol.4

「よもよも」は、ティーンズコーナーのおすすめ本を紹介していきます。

「園芸少年」

魚住 直子（著）

講談社

YA Fウオ

共学の、そこそこの進学校（高校）に入学したばかりの男子3人。

篠 崎—高校生活をそつなく過ごそうとしている、さっぱりしてるというか熱くないタイプ。

大和田—眉毛をそってて、がらが悪くて、態度もデカいけど、悪い人ではない。

庄 司—段ボールをかぶらないと外に出られない、相談室に登校中。

野球部とかバスケ部とか押しの強い部活の勧誘を避けているうちに、なりゆきで園芸部に入ることになった篠崎と大和田。とりあえず、鉢植えに水をやったり、種まいたり、活動してみる。しおれた植物が水やりで元気になるのとか、けっこう楽しい。だけど、種をまいてもすぐに葉っぱが出るわけでもないのは、手ごたえなくて地味。

そんな時、温室で、段ボールを頭にかぶって制服を着た人間と遭遇！正面に目と口の穴3つをあけて、ガムテープで補強された、2リットルのミネラルウォーター6本入りの段ボール。それをかぶらないと外に出られない、入学してから一度も教室に行けていない庄司と出会う。自分を見たことを誰にも言わないでほしいと頼む庄司に、黙っておくかわりに園芸部の水やりを手伝ってもらうことに。ボックスボーイ、略して「BB」とあだ名をつけてみたり。段ボールをかぶったまま、どうやってお弁当を食べるのか、謎(?)を解いてみたり。昼休み、地味に地道に水やりをしているうちに、タイプの違う3人も仲良くなり、夏休みには一緒にキャンプにも出かける程に。

植物が成長していくように、手間ひまかけてじわじわと、時にぐいっと、不器用ながらも成長していく高1男子3人の、春から秋にかけての物語です。

部活！小説

新学年を迎えてなんとなくバタバタしていたのも、そろそろ落ち着いてきたのではないのでしょうか。みなさんはどんな部活に入りましたか？運動部？文化部？できれば帰宅部がいい…なんて、いろんな人がいるでしょう。どんな部活に入れば、これからの生活が楽しくなるかな？学校生活が充実するかな？友達と仲良くできるかな？いろんなことを考えて入部したはず。

やっぱり、部活って、学校生活の中ではけっこう大切なポジションだったりしますよね。今回の「よもよも」は、もう部活に入ってる！という人も、こんな部活にも興味あるわ～という人にもおすすめの、部活がらみの本を紹介します。

陸上部

「一瞬の風になれ」全3巻

佐藤 多佳子（著）

YA **Fサト**

サッカーは好きだった。けど、U16 日本代表候補にもなる天才的 MF の兄のようにはうまくできず、ガス欠気味でやめてしまった神谷新二は、幼なじみの天才スプリンター・連と春野台高校陸上部に入ることに。陸上初心者の新二の目を通して語られる 100m、200m、リレー競技など。走る時の疾走感に魅せられ、ひたむきに、速く走れるように努力する新二。男同士の友情、ライバル、ちょっと気になる女の子のこと。何かに、ひたむきに打ち込むこと。理屈じゃなく、計算じゃなく、ただ速く、走る。走る。走る！

運動なんてキライ！という人だって、きっと胸が震える。走ってみたいくなるような面白さ！全3巻と、少し長いかもしれないけど、期待は裏切りません。これこそ、青春陸上小説の決定版！

剣道部

「武士道シックスティーン」

誉田 哲也（著）

YA **Fホン**

あくまで勝敗にこだわる磯山と構えや動きのキレイさにこだわる早苗は、同じ高校の剣道部に所属している。そんな二人の出会いは中3の頃にあった剣道の市内大会。地元では負け知らず、全中準優勝の磯山を負かしたのが早苗だった。リベンジに燃える磯山の調子を崩すキャラの早苗。そんな二人が剣道を通してちょっと変わった友情を育んでいく。

私たちに恋や美に割く時間などない！ただひたすらに剣道に打ち込む。武道女子のスポ魂ここにあり！続編もあるのでぜひ！



「くちびるに歌を」

中田 永一（著）

YA Fナカ

長崎県五島列島の中学合唱部。顧問の先生が産休のため、東京からやってきた美しすぎる臨時音楽教師（元神童で自称ニート、廃車寸前の軽トラが愛車）が代わりに顧問に。女子ばかりだった合唱部にも、先生目当ての男子生徒がぞくぞくと入部。Nコンへの出場をかけてがんばる女子部員と、ふまじめな男子部員の対立も勃^{ぼっ}発^{ぱつ}するなか、先生からは、課題曲「手紙 ～拝啓十五の君へ」にちなんで、15年後の自分へ向けた手紙を書く課題も出される。その手紙には、部員のそれぞれの思い、人に言えない悩みもあり・・・

離島の中学生、男女混声合唱、家族のこと、恋愛のこと、中学生のゆれる思い。「くちびるに歌を持って、勇気を失うな。心に太陽を持って。そうすりゃ、なんだってふっ飛んでしまう！」っていう感じの詩を彷彿^{ほうふつ}させる、爽やかな読後感の青春小説です。



「ノーブルチルドレンの残酷」

綾崎 隼（著）

YA Fアヤ

舞台は新潟、私立美波^{みなみ}高校。「演劇部」と偽って睡眠部屋を確保したい大財閥の跡取り息子 舞原吐季^{まいばらとき}と、自分の輝かしい将来のため「保健部」創設を自論^{もくろ}む医療界を牛耳^{ぎゅうじ}る一族の娘 千桜^{ちざくら} 緑葉^{みどりば}は、一族同士が敵対する因縁の関係。一つだけ空いた部室の奪い合いを発端^{ほったん}に、両部は推理合戦をすることに。

反発しあいながらも、ある事件をきっかけにクールな吐季に恋に落ちてしまう、自分にゆるぎない自信を持つ無神経で善良な緑葉。恋する気ゼロの吐季だが、二人の関係には何かが芽生えそうな気配も。まるでロミオとジュリエットのようなようだと言われる、緑葉と吐季の恋の行方は・・・？

続編もあります。→

きゅんってなる本紹介します！

「吉野北高校図書委員会」1～3

山本 渚（著）

メディアファクトリー

YA ヤマ

今回のきゅん作品は青春モノをご用意しました。委員会のおはなしですが、部活動とは一味違う雰囲気味わってみてほしいと思います☆

突然ですが、みんなは図書委員ってどんなイメージですか？暗いとか地味とか…はたまたマジメそうとかいろいろあると思います。しか～し！この作品を読んだら、そのイメージが変わること間違いなし！（たぶん）本当に世界がキラキラしちゃってるんです。『くう～！』って思わず言ってしまうほどの胸きゅんをみんなにお届けしちゃいます♪

あらすじ

舞台は徳島県徳島市にある吉野北高校。主人公はその高校の図書委員の副委員長をしている、川本かずら高校2年生。かずらの幼馴染みこと武市大地も同じ図書委員をしていて、小さいころからずっと一緒にいる。だけど、最近大地には彼女ができた。しかも図書委員の後輩で、“女の子”って感じの子。『彼女なんていない、作らない』って大地は言ったのに…

自分の気持ちに気づいてしまったかずら、そしてそんなかずらを見守る男の子もいて。図書委員会という一つの世界でさまざまな想いがあり、悩みがあり、ぶつかり合いがあり…というお話。

関西弁にどことなく似ている、徳島弁がまたいい雰囲気を出しててたまらない。セリフひとつひとつが、スッと心にはいってくる感じです。

とにかく、ああ～この恋どうなっちゃうの！？って続きが気になってページをめくってしまいます。みんなも一緒に吉野北高校図書委員会の人たちの恋を応援しよう♪